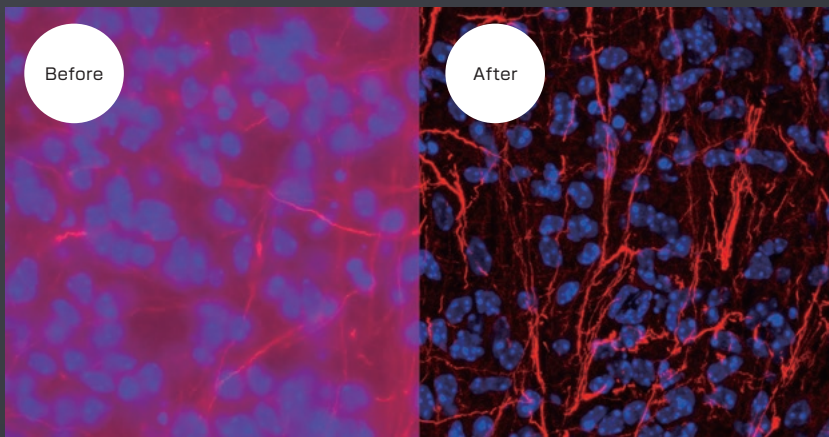
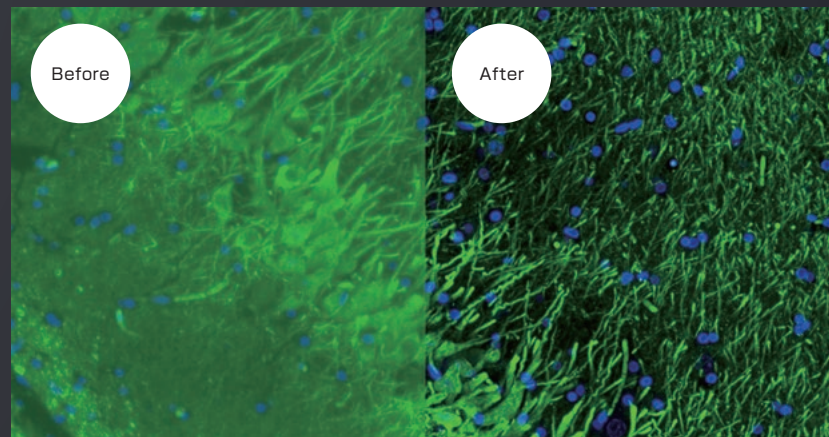


“レーザーを使わずに”誰もがクリアな画像を。

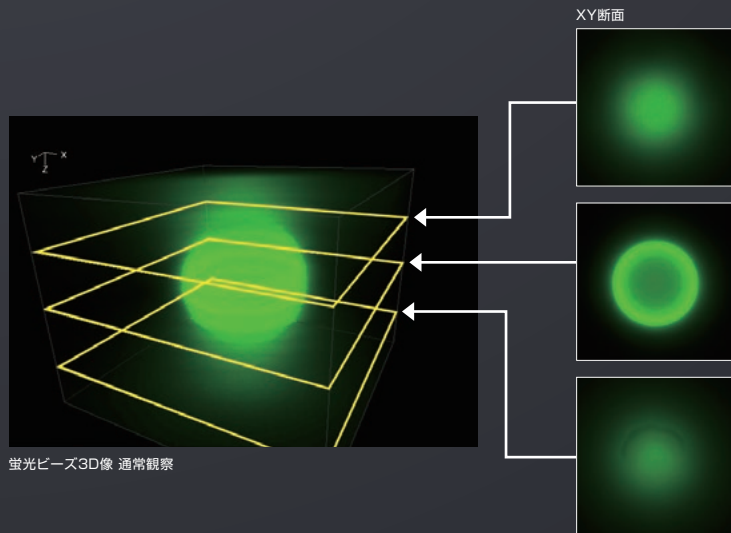
# セクションング撮影



マウス胎仔の脳 神経細胞



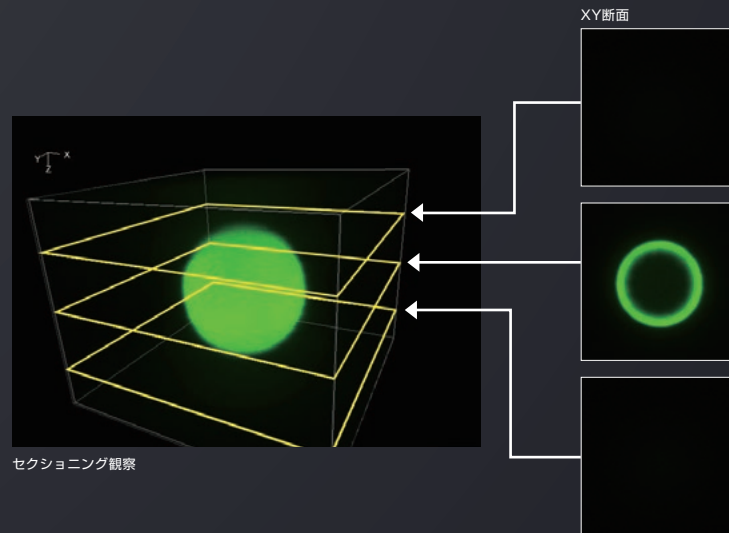
ラット脳 神経細胞



蛍光ビーズ3D像 通常観察



蛍光ボケを除去し、  
フォーカス面からの  
信号のみ抽出

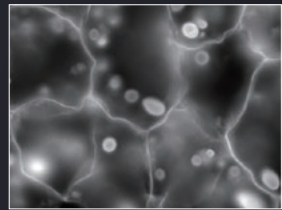


セクションング観察

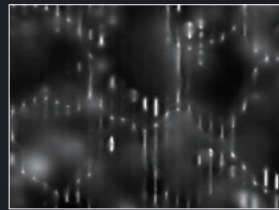
## セクショニングアルゴリズム

構造化照明(Structured Illumination)を用いて、フォーカス面からの信号のみを取り出します(断面化:セクショニング)

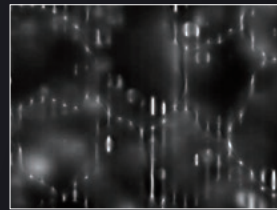
- 1 紫外から近赤外まで、広い波長を持つメタルハライドランプからの励起光を、電氣的投影素子を通して、グリッド状にして投影(構造化照明)。グリッドはフォーカスのあっている部分にのみ投影されます。
- 2 グリッドを動かして、複数枚の画像を取得します。
- 3 これらの複数の画像から、グリッドの投影されている部分のみを抜き出すことで、上下方向からの蛍光ボケの影響を除去。フォーカス面のみの信号を抽出したクリアな画像を得ることができます。



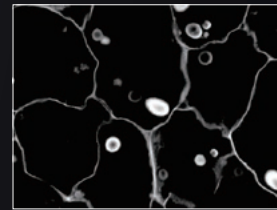
元の画像



1 グリッド投影



2 グリッドを動かす



3 蛍光ボケ除去



## セクショニング撮影の特長

白色光源だから…

- 特長 1 大掛かりなシステムが必要ありません。
- 特長 2 フィルタキューブを交換するだけで、DAPIからCy7,ICGまでセクショニング撮影が可能です。
- 特長 3 ダメージや褪色の影響を軽減できます。

電氣的投影素子だから…

- 特長 1 倍率に応じて、自動的に最適なグリッド幅に調整されます。
- 特長 2 細かい設定は不要で、ボタンを押すだけ。特別な技術は必要ありません。
- 特長 3 必要に応じて、画像を見ながらグリッドの幅や種類の変更も可能です。

